



岡田 康司

① 能勢町の道 ② 能勢町内における防犯対策 (街灯および防犯カメラの設置等) 防災対策(消防団再編等)

問 道路の補修整備、維持整備はどの様に計画を立て、行っているか問う。

答 管理者としてパトロールや、自治区からの通報等により対応している。また、施工規模の大きな舗装修繕や橋梁修繕は、計画に基づき実施しており、その他の道路整備や補修は、緊急性や重要性を考慮し、順次実施している。

問 インフラ整備の点検を行っているか問う。

答 道路橋は5年ごとに点検、現在229橋は健全な状態にあり、下水道は、硫化水素が発生しやすい橋梁添架付近の管路が腐食しやすい、5年ごとに点検を実施している。

問 町管理の道路以外は、どのように取り組んでいるか問う。

答 国道、府道は、池田土木事務所に連絡。

問 街灯、防犯カメラの設置等について、どのような考えがあるか問う。

答 協働事業交付金を活用し、各区の実情に合わせて新設、LED化など、適時対応していただいている。また、防犯カメラは通学路、地区境界、主要な交差点に26台設置し、順次更新を予定している。

問 防災対策、認知症行方不明者の対策強化に取り組まれているか問う。

答 各地区防犯委員会、豊能警察署と連携し、地域に根差した活動に努めている。また、認知症行方不明者の対策は警察署、消防署、その他関係機関などの協力を得て、ネットワークを構築し、安全確保に資する事業を実施している。



一般質問



畠中 勝身

自治会館でのAED

問 田尻地域の催し物があれば、高齢者から小さな子どもたちまでが会館にあつまり楽しい1日を過ごすのが慣例になっている。

答 自治会館でのAEDの設置数は1箇所となっており、救命講習については、昨年、豊中市北消防署能勢町分署が、町内事業所等に延べ15回、259人に実施している。自治会館での実績はない。

問 AEDを自治会館に設置すれば、大変な予算が発生する。

答 自治防災組織設置助成金は一度しか使えないのか問う。

答 地域の機運醸成や組織設置の促進を目的としていることから、機器更新の際に必要な費用等については、協働事業交付金を活用していただきたい。

問 町の負担で自治会館にAED設置の考えはないのか問う。

答 AEDの設置については基本的に事業者に任せている。

問 24時間営業しているコンビニにAEDを置く必要性を問う。

答 AEDの設置については基本的に事業者に任せている。



答 町負担での考えはなく、協働事業交付金を活用していただきたい。新たな制度等ができれば直ちに案内する。